

令和5年度 徳島県公共事業評価委員会資料

【森林整備課】

【番号11～20】 林道開設事業

梶山内田線	岩倉蟬谷線
田野内杖立線	長安海川線
★ 川崎国見山線	横石谷山線
日和茶坂瀬線	星越神戸丸線
生実八重地線	★ 禅僧線

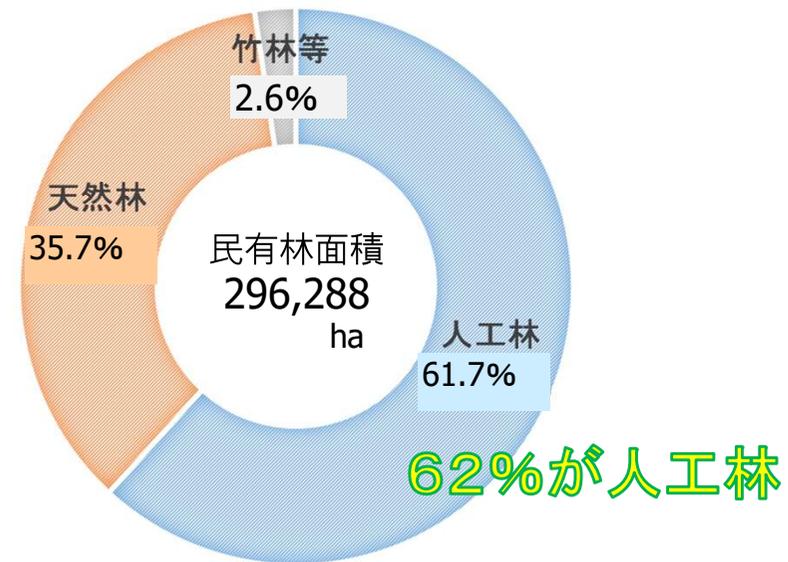
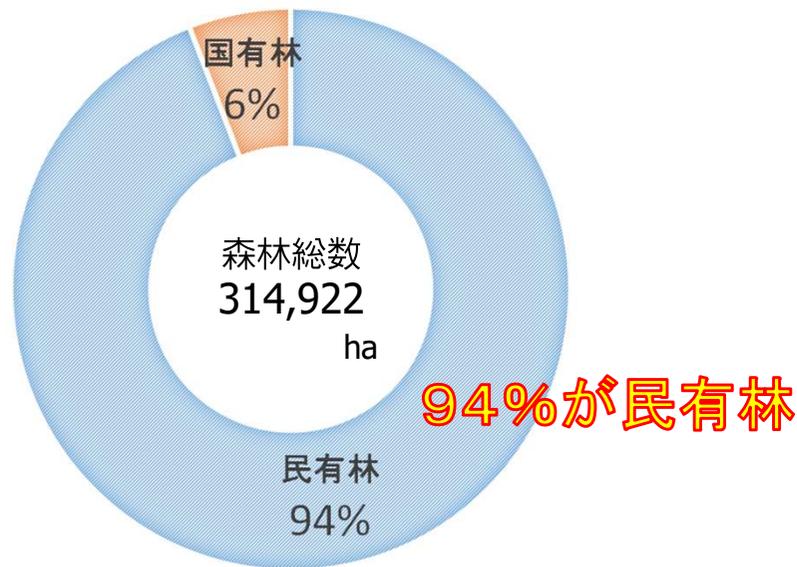
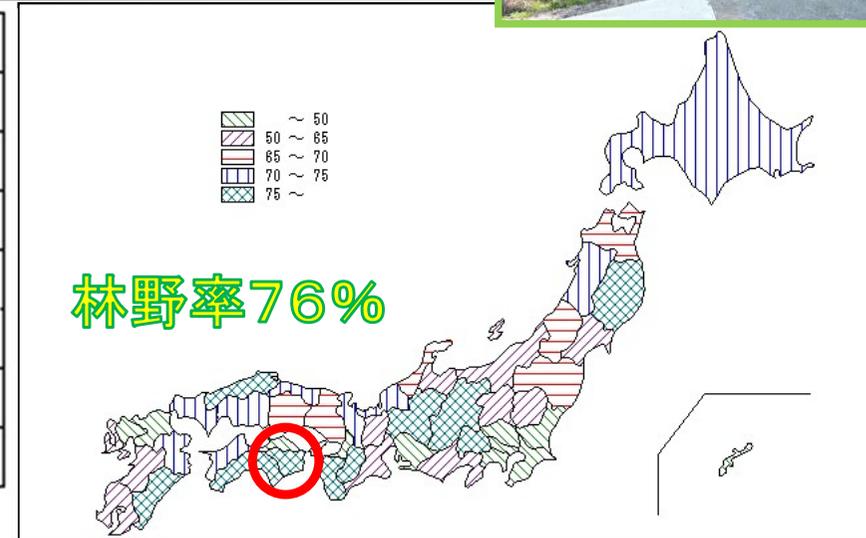
徳島県の森林・林業について

主要指標



項目	単位	全国	徳島県	順位
総土地面積	千ha	377,969	4,147	36
林野率	%	66.4	75.5	9
森林面積	ha	25,048,199	314,829	29
国有林	ha	7,658,728	18,573	34
私有林	ha	17,389,471	296,257	25
人工林面積	千ha	10,203.8	189.7	23
人工林率	%	40.7	60.2	10

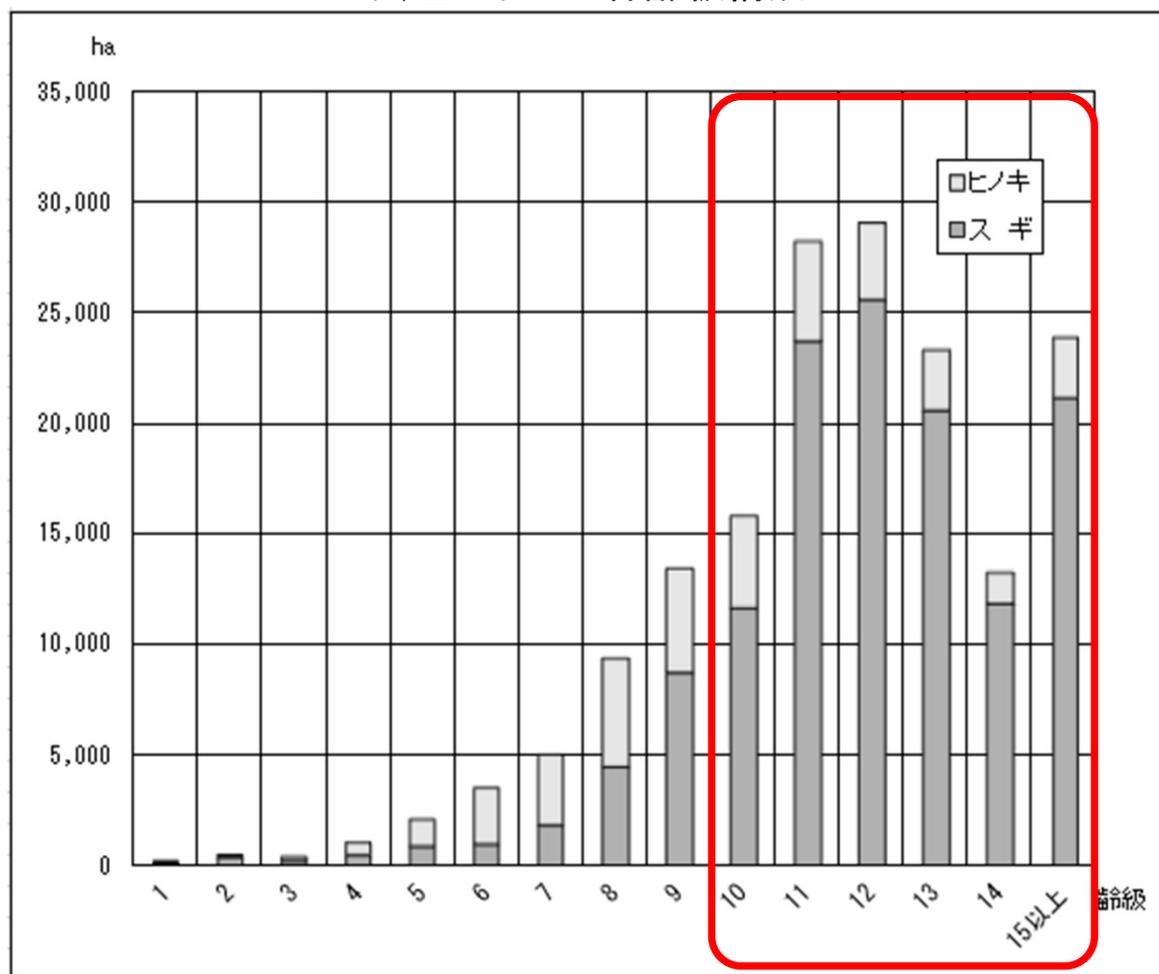
※ R5年度版「みどりの要覧」より



林業をとりまく情勢

成熟した森林の状況

スギ、ヒノキ人工林年齢構成



人工林面積の約8割が
10年齢級(46年生)以上
収穫期

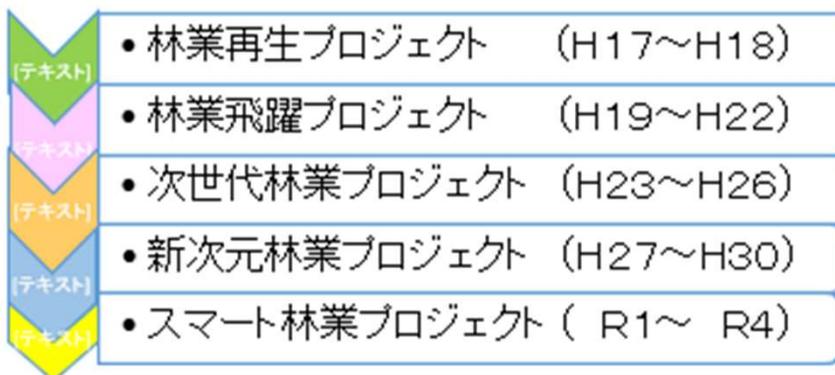


林業プロジェクトについて

Ⅱ. 林業プロジェクトの展開

豊富な森林資源を背景に

平成17年度から5次にわたる林業プロジェクトを実施



◆「新間伐システム」⇒「主伐生産システム」の導入

◆大型製材工場の誘致・本格稼働

- ◆県産材の利用を総合的に促進する体制の構築
- ◆伐採から造林・保育の森林サイクルを確立
- ◆効率的で低コストな県産材生産体制の構築を推進

Ⅲ. 主な成果

林業生産分野

- 県産材生産量 H16:174千m³→R4:418千m³
- 新規林業就業者数(累計) R4:541人
- 「とくしま林業アカデミー」の開講 H28.4
- 林内路網開設延長(累計)
H29:7,567km→R4:8,311 km

木材加工分野

- 県産材の自給率 H16:22%→R4:54.9%
- 県内消費量 H16:54千m³→R4:141千m³

木材利用分野

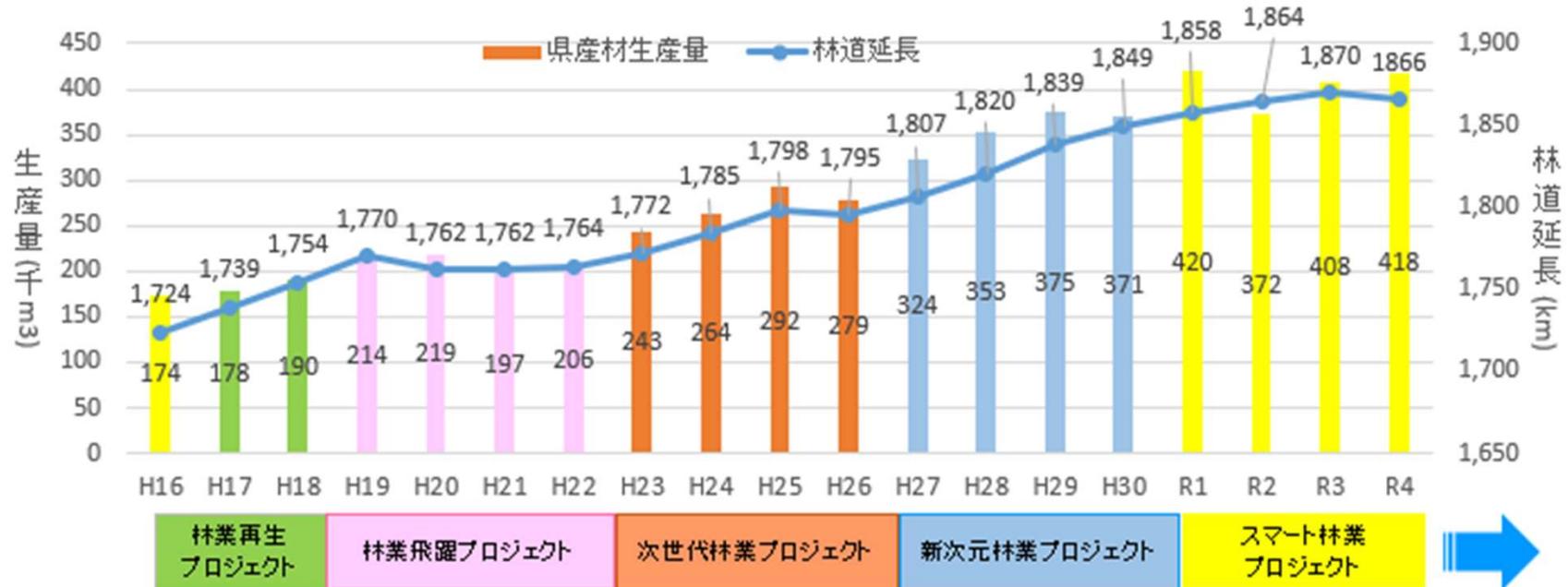
- 県外・海外への県産材出荷量
H16:134千m³→R4:350千m³
- 徳島県県産材利用促進条例 H25.4施行
- 「とくしま木づかい県民会議」の設立 H28.3
- 「とくしま木のおもちゃ美術館」オープン R3.10



林道が担う役割



林道開設延長と県産材生産量の推移



【新規林業就業者数】
H17～R4の累計: 541人(30人/年)
 うち直近5年間
H30～R4の累計: 189人(38人/年)

林道の概要

林内路網のイメージ ～林道の位置付け～

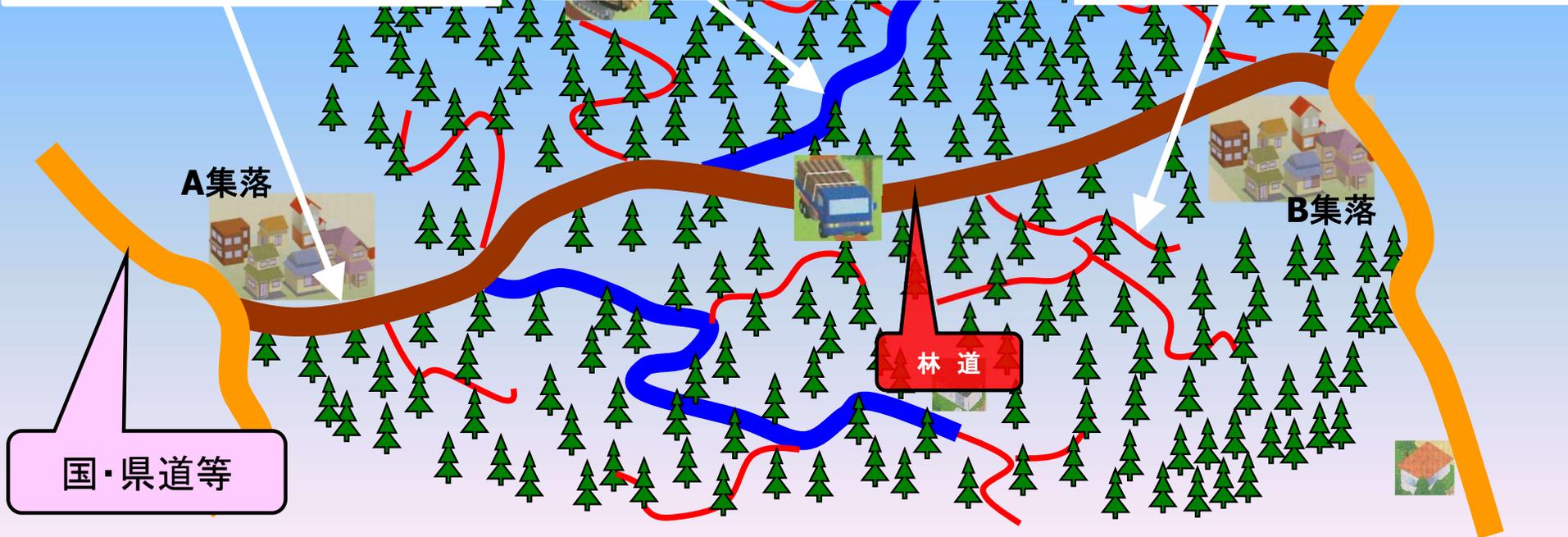
林道



林業専用道



森林作業道



林道の概要

林道整備のイメージ ～林道の整備方針～

効果的な施業に繋げる配置



環境に負荷をかけない線形

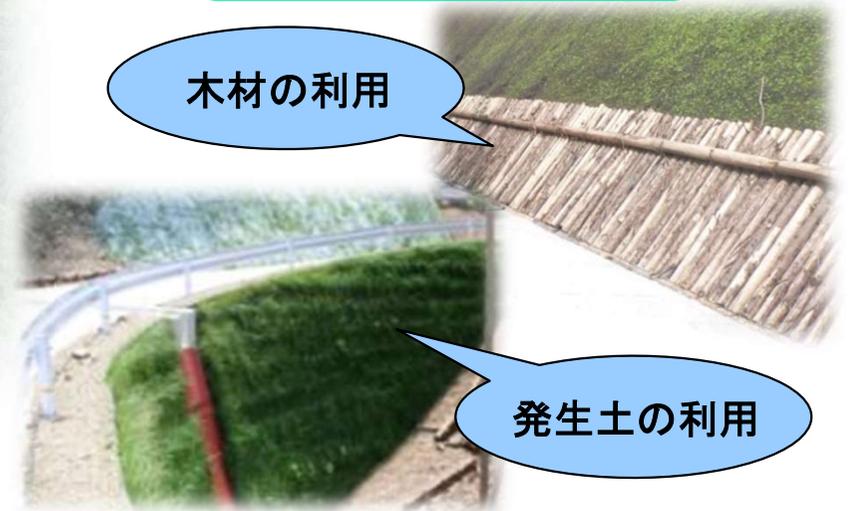
地形に沿った線形



環境配慮型の構造

木材の利用

発生土の利用



林道の概要

林道が担う役割 ～林道の開設効果～

森林整備の促進

林業コストの削減

作業の効率化

労働負荷の軽減

生活道

緊急時の
避難・迂回路

林産物の栽培

森林へのアクセス



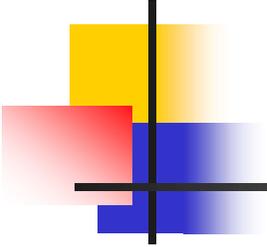
林道開設事業の再評価

○今回再評価（林道開設事業：全10件）

共通事項

- ・森林の適正な管理や保全、林業・木材産業の成長産業化を図るために、林道を基幹とした路網整備を実施している。
- ・関係市町及び森林所有者等地元の関係者からは、事業の早期完成を要望されている。

番号	路線名	箇所名	全体事業費 (百万円)	利用区域面積 (ha)	事業内容 (計画延長 m)	事業 採択	完了 予定	進捗率 (%)	B/C	代表 説明
11	梶山内田線	美馬市	5,980	1,461	18,556	H4	R20	64	1.7	
12	田野内杖立線	美馬市	4,946	1,248	19,850	H5	R15	69	1.6	
13	川崎国見山線	三好市	6,400	2,356	20,840	S61	R16	80	1.4	○
14	日和茶坂瀬瀬線	三好市	7,600	3,485	32,000	H2	R16	79	1.1	
15	生実八重地線	上勝町	5,200	1,324	17,700	S62	R18	79	2.0	
16	岩倉蟬谷線	那賀町	5,600	1,729	20,800	S62	R14	83	1.4	
17	長安海川線	那賀町	4,982	2,106	30,404	S62	R20	66	1.8	
18	横石谷山線	那賀町	5,200	1,197	18,100	H5	R15	78	1.8	
19	星越神戸丸線	那賀町	4,358	996	16,200	H5	R15	75	1.5	
20	禅僧線	海陽町	3,240	1,052	12,000	H16	R20	30	1.8	○



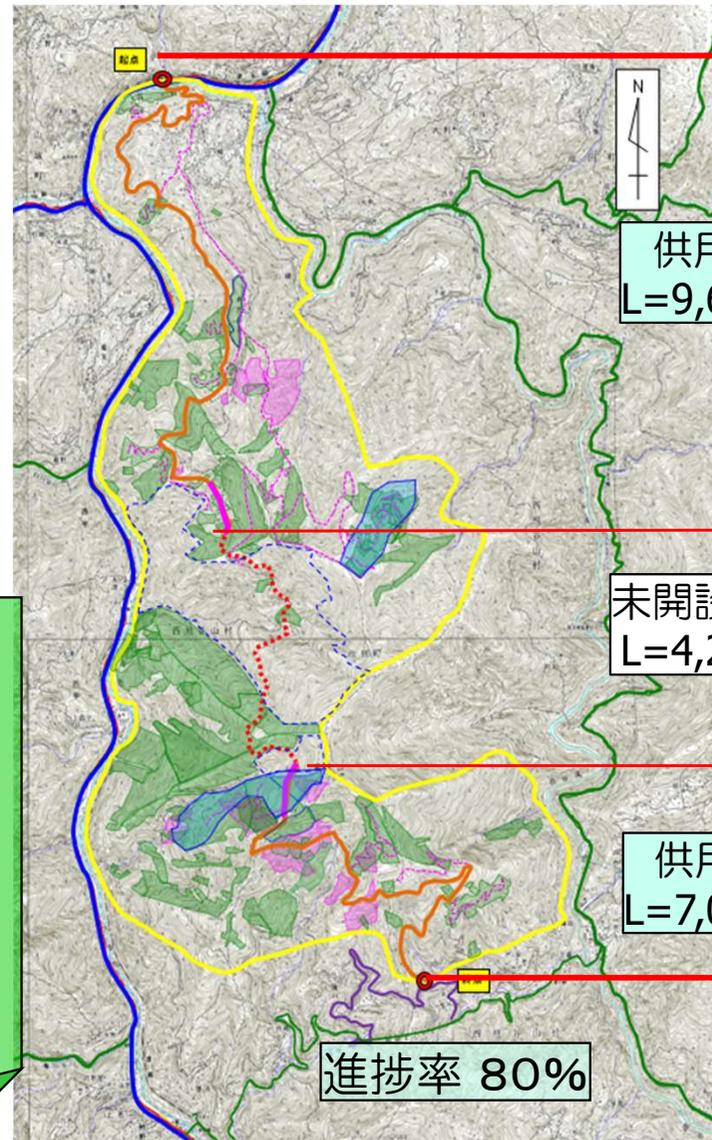
令和5年度 徳島県公共事業評価委員会

13. 森林基幹道 川崎国見山線

林道 川崎国見山線 位置図



川崎国見山線



供用済
L=9,601m

未開設区間
L=4,214m

供用済
L=7,025m

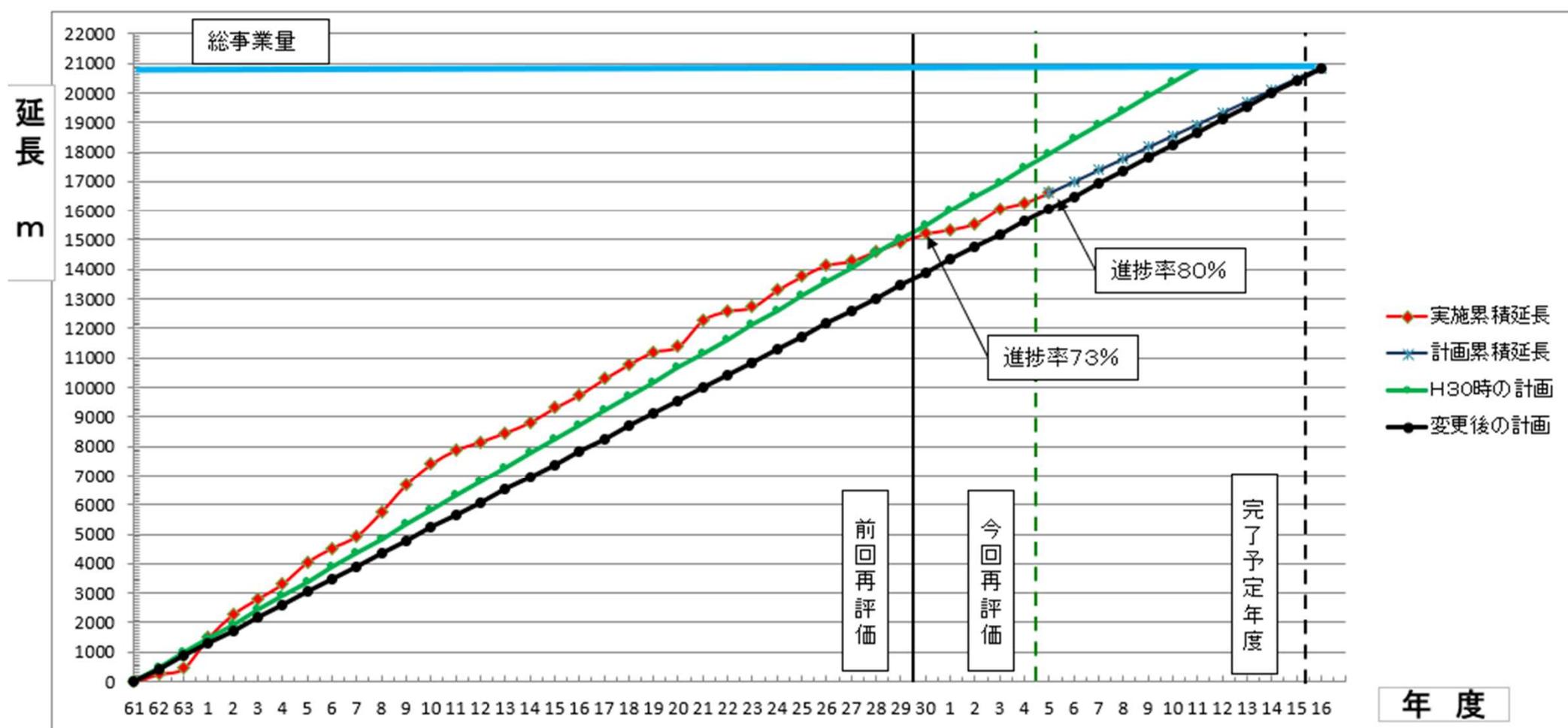
全体計画 20,840m

進捗率 80%

幅員 4.0~5.0m
 延長 20,840m
 総事業費 6,400百万円
 事業期間 49年間
 (S61~R16)

利用区域面積 2,356ha
 (利用区域内の人工林率=71%)

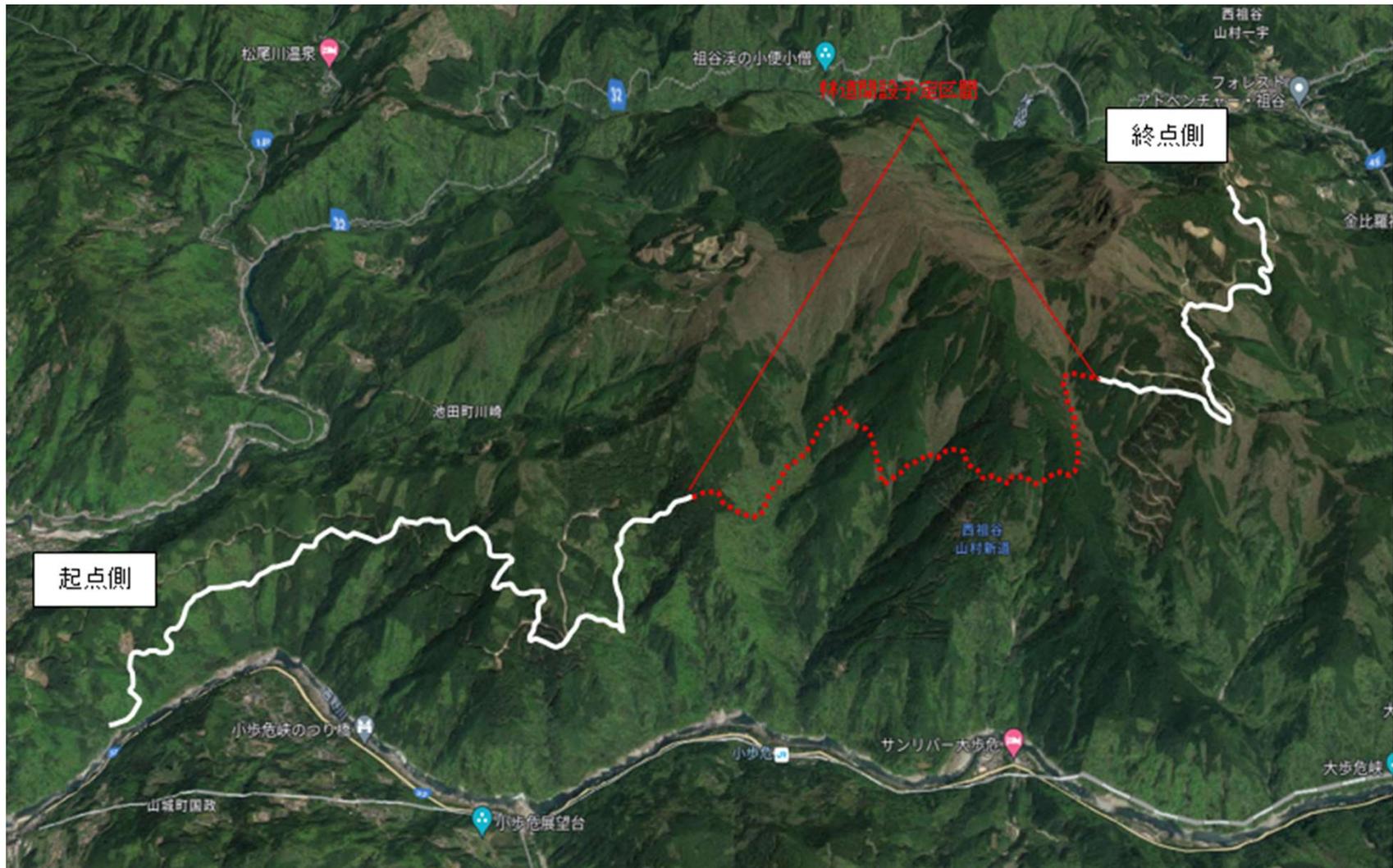
林道開設事業(森林基幹道) 川崎国見山線



前回再評価における結果	前回(平成30年度)の評価委員会においては「継続することが適切である」旨評価されている。
前回の再評価以降の状況	平成30年7月豪雨災により災害事業に人員を奪われたことで担い手が不足し、一時、進捗が低下した。
今後の見通し	今後も急峻な箇所を通過予定ではあるが、さらなるコスト縮減に取り組みまた、重点的な予算配分を行い、計画期間内の完成を目指す。

林道 川崎国見山線

林道周辺の状況



林道 川崎国見山線

起終点の状況



① 起点



② 終点

林道 川崎国見山線

林道周辺の状況



池田工区 川崎集落



森林施業状況

林道 川崎国見山線 林道周辺の状況



国見山登山道 入り口



森林施業状況

林道 川崎国見山線 森林整備状況

整備前



作業道を開設し森林整備を実施

整備後



費用対効果

総便益

- 1 木材生産等経費縮減便益
- 2 木材利用増進便益
- 3 木材生産確保・増進便益
- 4 造林作業経費縮減便益
- 5 森林管理等経費縮減便益
- 6 森林整備促進便益

207億553万1千円

総費用

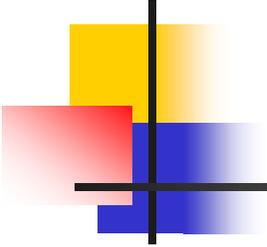
事業効果発現に必要な費用

144億3,169万3千円

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 1.43$$

■ 今後の対応方針（案）

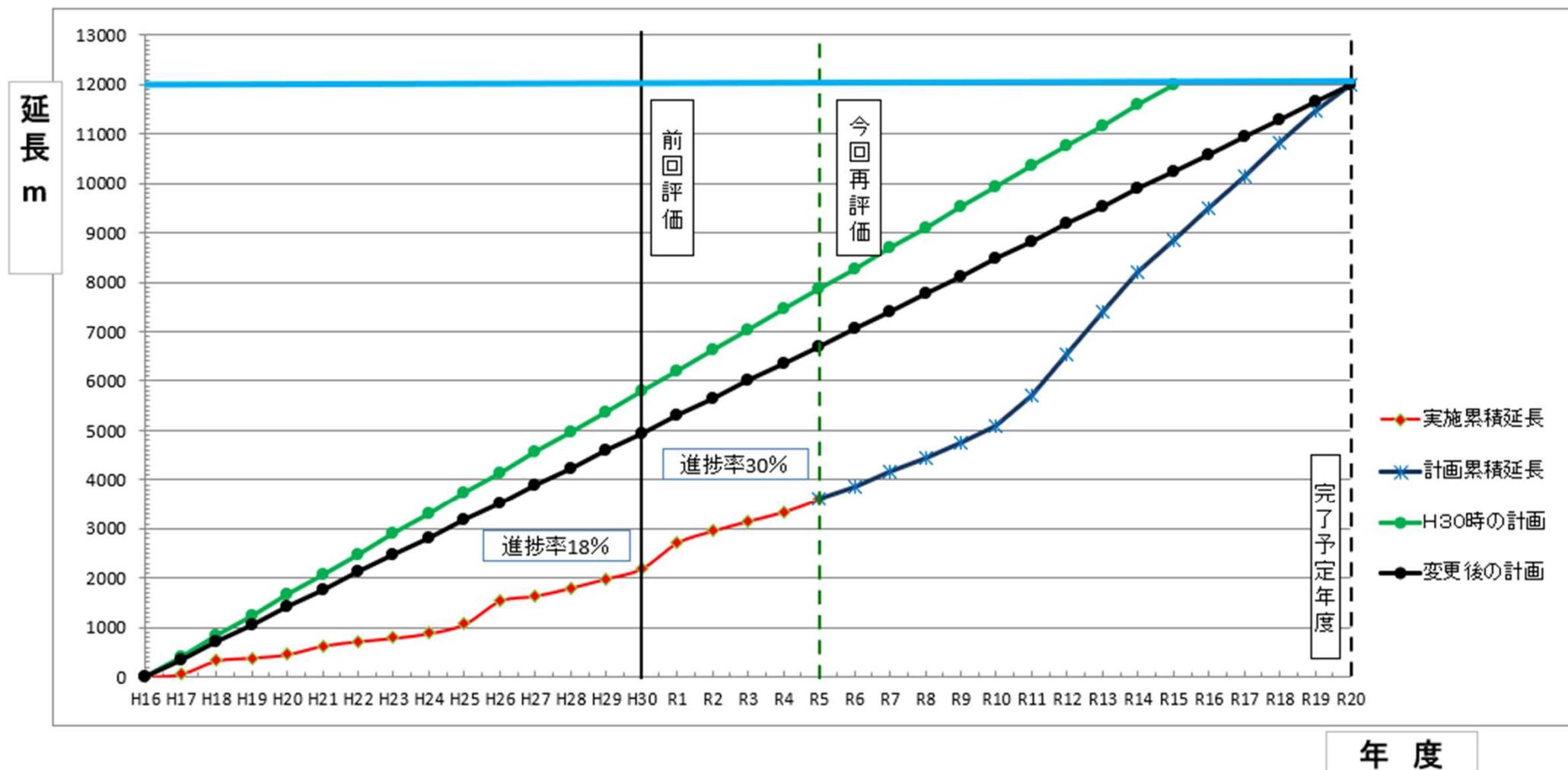
事業継続



令和5年度 徳島県公共事業評価委員会

20. 森林基幹道 禅僧線

林道開設事業(森林基幹道) 禅僧線



前回の再評価状況	前回(平成30年度)の評価委員会においては「継続することが適切である」旨評価されている。
前回の再評価以降の状況	急峻な地形の区間を通過していることと、近接集落の水源地域を通過しているため路線内に残土処理場を確保できず、運搬経費が高額となり事業進捗に遅れが生じている。
今後の見通し	残工事区間については、開設ポイントを追加し令和11年より4工区体制による開設を行っていく計画であり、地形条件も比較的緩やかな地形へと変化するため開設延長の延伸が見込まれる。工法や勾配、線形の検討はもとより、残土を有効利用するために補強土壁工の積極的な採用などによる事業費の縮減につとめるとともに、経費の重点配分により計画期間内の完成を目指す。

林道 禅僧線

林道周辺の状況



林道 禅僧線

林道周辺の状況



林道 禅僧線 森林整備状況



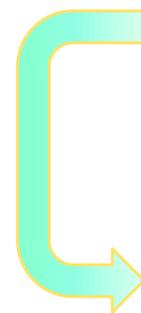
搬出間伐実施状況



整備前



間伐前の森林



整備後



間伐後の森林

費用対効果

総便益

- 1 木材生産等経費縮減便益
- 2 木材利用増進便益
- 3 木材生産確保・増進便益
- 4 造林作業経費縮減便益
- 5 森林管理等経費縮減便益
- 6 森林整備促進便益

58億1,216万2千円

総費用

事業効果発現に必要な費用

32億6,941万5千円

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 1.78$$

■ 今後の対応方針（案）

事業継続